

	(2)		12月																															
38人工腎臓、持続緩徐式血液濾過、腹膜灌流又は血漿交換療法	(2)																																	
39肺炎に対する治療	(1)																																	
40褥瘡に対する治療（皮膚層の部分的喪失が認められる場合又は褥瘡が2カ所以上に認められる場合に限る。）	(2)																																	
41末梢循環障害による下肢末端の開放創に対する治療	(2)																																	
42うつ症状に対する治療																																		
431日8回以上の喀痰吸引																																		
44気管切開又は気管内挿管（発熱を伴う状態を除く。）	(2)																																	
45創傷（手術創や感染創を含む。）、皮膚潰瘍又は下腿若しくは足部の蜂巣炎、膿等の感染症に対する治療	(2)																																	
46酸素療法（20を除く。）																																		
4786（医師及び看護職員により、常時、監視及び管理を実施している状態）に該当、かつ、1～46（14を除く。）に該当しない場合																																		
			☆																															
医療区分3の該当有無																																		
医療区分2の該当有無																																		
医療区分3・2いずれも0（医療区分1）																																		
81脱水に対する治療																																		
82頻回の嘔吐に対する治療																																		
83発熱がある状態																																		
84経鼻胃管や胃瘻等の経腸栄養																																		
85気管切開又は気管内挿管																																		
86医師及び看護職員により、常時、監視及び管理を実施している状態																																		
87中心静脈カテーテル関連血流感染症に対しての治療																																		
91身体的拘束を実施している																																		

【留意事項】

[illegible]

患者の状態像評価

[illegible]

注1
ア 平成20年3月31日において現に障害者施設等入院基本料を算定する病棟に入院している患者のうち、重度の肢体不自由児(者)、脊髄損傷等の重度障害者、重度の意識障害者、筋ジストロフィー患者、難病患者等であって別表第五の二若しくは別表第五の三の患者

注2
ア 平成20年3月31日において現に障害者施設等入院基本料を算定する病棟に入院している患者のうち、重度の肢体不自由児(者)、脊髄損傷等の重度障害者、重度の意識障害者、筋ジストロフィー患者、難病患者等であって別表第五の二又は別表第五の三の患者以外の患者

ウ 平成20年3月31日において現に特殊医療療養病棟入院料2を算定する病棟に入院している患者のうち、重度の肢体不自由児(者)等、重度の障害者(脊髄損傷等の重度障害者、重度の意識障害者、筋ジストロフィー患者及び難病患者等を除く。)(別表第五の二の患者は除く。)

褥瘡の状態の評価

[illegible]